

シーティングってなに？ 車イスとはどこがちがうの？

Q 今までの車イスとは、なにが違うのですか？



ひなこ

今までの車イスは、歩くのが困難な方を運ぶための道具だと考えられていました。しかし欧米では、車イスで一日中快適に活動できるようにシーティングと呼ばれる工夫をしています。その結果、寝たきりにならず、車イスでやりたいことがやりたい時にできる、あたりまえの暮らしが可能になるのです。

Q 車イスで生活ができる、それをシーティングが助けるんだね？



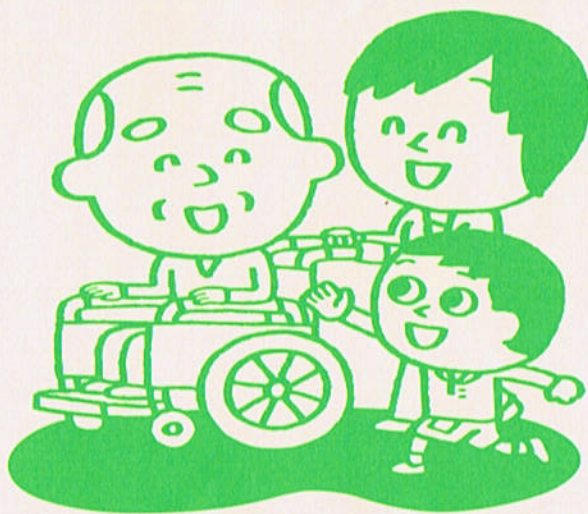
ひなこ

はい、そうです。シーティングで車イスを個人に合わせることで、歩けなくなっても寝たきりになるのを防ぐことができます。痛みや床ずれを防ぎ、食べたり飲み込んだり呼吸することを楽にします。健康でいられることで、介護・医療・保健の費用が安くなり、自立が可能になり、介護の負担が軽くなります。

シーティングは障害を持って生まれた方の身体の変形を予防して健康な発育を助けます。中途障害の方の自立にも役立ちます。シーティングによって、車イスが必要になっても快適に生活を楽しむことができます。

医療でもシーティングの考えを取り入れて様々な問題を解決しようという、新しい動きが始まっています。岩手では全国に先駆けて、高橋比奈子取り組んでいます。

身体の不自由な方を寝たきりにさせない、シーティングの新しい考え方であたりまえの生活を取り戻しましょう。



Q 今までの車イスでもいいの？



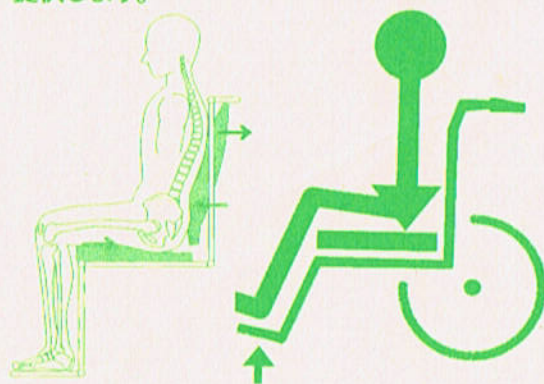
ひなこ

生活のための車イスは、個人に合わせて設定し、快適で正しい座り方を提供する必要があります。そのためには、シーティングが考慮された車イスを使用するか、今まで使っていた車イスをシーティング技術を使って設定し直して使用することができます。

●これまでの車イスは、布製の座面と背もたれのため、身体がずり落ちやすく、お尻の痛みや床ずれが生じたり、背骨の痛みや変形が生じて長く座ることが困難でした。



●骨盤が正しい状態で保持されるように背もたれ、クッション、肘置きや足台の高さや位置などを個人に合わせて設定し、快適性と安全性を提供します。



お年寄り、身体の不自由な方々や次の世代に生きる子どもたちのくらしと命を守りたい。その思いで頑張っています。一緒にがんばりましょう。



ひなこ

高橋比奈子

☆シーティングスペシャリストの山崎泰広さん(東京)にアドバイスを頂いています。